



ルーテル学院だより

NO.139
2019.6.15

<http://www.luther.ac.jp/>

発行 ルーテル学院大学・
日本ルーテル神学校
〒181-0015
東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL:0422-31-4611
FAX:0422-33-6405

発行人 市川 一宏

授業探訪 「ボランティア 市民活動論」



大曲 睦恵 助教

〈専門分野〉

子ども、グリーンフサポート、
メンタルヘルス

〈主要担当科目〉

ボランティア・市民活動論、
精神保健福祉援助実習指導

今回は「ボランティア市民活動論」
についてご紹介します。



つから選んでももらいました。

のサロン「よつて
らっしゃい・にしみ
たか（＊）」に参加

し、地域の方々との
交流や、イベントの
お手伝いをするとい
うボランティアの2

フィールドワーク2は、児童福祉・
障がい者福祉・高齢者福祉・地域福
祉・病院ボランティア・国際ボラン
ティアのうち、関心のある分野を1つ
選び、その分野で実際にボランティア
活動をしている人、または団体にイン
タビューに行くことです。分野によっ
てはそのボランティアを経験する機会
もあります。そして、インタビューを
もとの、授業内で報告会を行い、そ
れぞれのフィールドワークの体験や体
験を通して得たこと、学んだことを共
有します。

昨年度は、①三鷹市内で放課後の子
どもたちの居場所活動をしている団体
②知的障がいのある人たちが働き、活
動をしている施設のボランティアさん
③障がい者が生活・社会的な活動に主
体的に参加しているけるように、障がい
当事者が活動や支援を行っている団体
④フィールドワーク1でご紹介した食
DE 絆と⑤よつてらっしゃい・にし
みたか、⑥病院で受付案内などしてい
るボランティアさんにインタビューを
させていただき、それぞれ報告会で報
告を行いました。報告会には、インタ
ビューを受けてくださった団体の方や
三鷹市社会福祉協議会の職員さん、ま
た、たまたまルーテルの後援会の方々

Q 授業では何を学ぶことができますか。
A ボランティア・市民活動論は、
講義と2つのフィールドワークを通
し、ボランティア・市民活動の意義・
理念、歴史、制度だけでなく、活動の
現状や活動者の思い、地域のニーズと
ボランティア・市民活動の意義を体験
的に学ぶことを目指しています。また、
フィールドワークを含め、授業を通し、
学生一人ひとりが自分の「ボランティ
ア観」を見直し、深めることにもつな
がっていると思います。

Q フィールドワークについて詳しく
教えてください。
A フィールドワークは2つの種類
があります。

フィールドワーク1は、指定された
ボランティアのうちの1つに参加する
ことです。今年度は「食DE 絆」と
いう、ルーテルの学食で地域の方と一
緒にランチを食べながら交流をする
というボランティアと、地域の方々向け

も聴きに来てくださり、それぞれ、緊
張しながらも内容の濃い発表を行うこ
とができました。

*ルーテル学院大学が運営委員会に参加
している、地域ケアネットにしみたか
（三鷹にある7つの地域ケアネットワー
クの1つ）が主催している地域の方々
のほっとスペース（サロン）。お茶を
したり、イベントをして誰もが楽しく
過ごし、また、ちょっとした困りごと、
相談もできます。

Q フィールドワークに行くのは緊張
しそうですね。
A 講義でも、フィールドワーク（実
践）に結びつくように、実際にボラン
ティアに行くときの心構えや、マナー
などについて考える機会を持ちます。

フィールドワーク2はそれぞれの学生
の希望に沿い、グループに分かれて準
備をしてからフィールドワークに行き
ますので、仲間がいるのは心強いです。
また、フィールドワークのイメージ
が付くように、授業では映像でイメー
ジを得たり、ボランティアをしたこと
のある学生の体験談を共有したり、話
し合いで自分たちの考えを深めたりし
ます。そして、フィールドワークにつ
ながるゲストスピーカーにお話いただ
いたり、市川学長もゲストスピーカー
でお話くださるなど、様々な視点で



フィールドワークに
ついて考える機会が
ありますので、自分
なりの心の準備がで
きると思います。も
ちろん、個別に相談
に来てくださっても
かまいません。

創立 110 周年記念行事



ルーテル学院は、2019 年に創立 110 年を迎えました。多くの方々に支えて
いただき、この長い歴史を築くことができました。私たちは、キリスト教教
育を基盤とし、社会福祉、臨床心理の学びを展開し、地域社会に必要とされ
る人材を育ててまいりました。これからも社会に貢献する人材を輩出し、皆
様とともに歩む、ルーテル学院でありたいと考えています。

110 周年を記念するプログラムを展開してまいります。各イベントの開催
詳細は随時ホームページ等でご案内いたします。

- 9 月 23 日（月・祝） 一日神学校 主催 日本ルーテル神学校、ルーテル学院大学
- 9 月 28 日（土） JSPS 日本リトアニア二国間セミナー
主催 コミュニティ人材養成センター
- 11 月 10 日（日） ルター研究所 秋の講演会 主催 ルター研究所
- 11 月 30 日（土） 110 周年記念大会・三鷹移転 50 周年
ホームカミングデイ 主催 ルーテル学院大学、日本ルーテル神学校
- 12 月 14 日（日） 臨床心理相談センター 公開シンポジウム
主催 臨床心理相談センター
- 2020 年 2 月 29 日（土） 2019 年度合同研究報告会
主催 包括的臨床コンサルテーション・センター

一人ひとりの「想い」をカタチにする 選抜方式へ

2021 年度入学者に対して行われる
入試は、これまでの「大学入試センター試
験」から「大学入学共通テスト」に代わる
等、大きな改革が行われます。

ルーテル学院大学の入試も、受験生のこ
れまでやってきたこと、自身の良さをさら
に活かせる入試へと変わります。

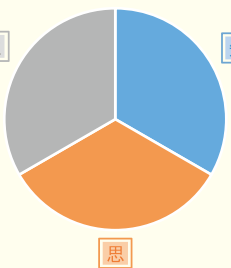
学力だけでなく、過去の経験から将来ま
で、一人ひとりの「想い」をアピールし、
本学独自の「学びの計画書」（今まで取組
んでいたこと、そこで得たこと、大学入学
後には何をどのように学びたいかをまとめ
る書類）により、総合的に評価します。

総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜
のそれぞれの選抜方式で、学力の 3 要素の
どこに重点を置くかを示していきます。

■ 学力の 3 要素の評価

新しい時代に必要資質・能力の育成のために、学力の 3 要素を
評価することが求められています。
それぞれの選抜方式で、どの要素に重点を置いているかは、円
グラフで示しています。

- 知 知識・技能
生きて働く知識・技能の習得
- 思 思考力・判断力・表現力
未知の状況にも対応できる、思考力・判断力・表現力等の育成
- 主 主体的・協働して学ぶ態度
学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養



行事予定 6月～8月

- 6月5日（水） 学生総会
- 6月9日（日） オープンキャンパス
- 6月29日（土） オープンキャンパス（保護者、社
会人・編入学希望者対象）
保護者会
- 7月7日（日） オープンキャンパス
大学院オープンセミナー（臨床
心理学専攻）
- 7月10日（水） 夏祭り
- 7月24日（水）・25日（木）
夏の高校生のための体験講座
- 7月29日（月） 通常授業終了
- 7月31日（水）・8月6日（火）
前期試験期間
- 8月4日（日） オープンキャンパス
- 8月24日（土） オープンキャンパス

高校生のための体験講座

要予約

対象：高校生

7月24日（水）・25日（木） 2日間のプログラム
10:00～16:00

9月16日（月・祝） 10:00～16:00

<体験講座についてのご予約・お問い合わせ先>
電話 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp



オープンキャンパスのご案内

予約不要

受付 12:30～

- 6月29日（土） 13:00～ 受験生の保護者・社会人・編入学対象
- 7月7日（日） 13:00～ AO 入試課題文・小論文対策講座
- 8月4日（日） 13:00～ キャリア支援説明会&卒業生メッセージ
- 8月24日（土） 13:00～ 実習教育、在学生スピーチ

<オープンキャンパスについてのお問い合わせ先>
TEL 0422-32-2949 メール koho@luther.ac.jp



ボランティア活動をアピール
あこがれのルーテルに

子ども支援コース2年 高橋 直実
(私立玉川聖学院高等学校出身)

私は高校1年生のときからルーテル学院大学に入りたいと思っていました。ルーテルを志望したきっかけは、ルーテルを卒業した先輩からルーテルについてたくさん話を聞いていたからです。少人数で教員と学生一人ひとりの距離が近いと聞いて、ここなら私のやりたいことを見つけ、落着いた環境で学ぶことができると思いました。

しかし、私は中高と学校に馴染めない時期があったため大学に通うことを諦めていました。高校3年

生になったときに、これからどうしたらいいのか、何をしたらいいのかを考えなおしたとき、不安でいっぱいでしたが、先生や先輩が背中を押してくれたため、もう一度ルーテルを目指してみることになりました。

そこから私は入試について調べ、AO入試という自分のことをアピールするレポートや面接で受験ができる入試があることを知りました。自分のことをアピールするのはとても難しかったですが、募金活動などのボランティア活動をしていたのでそのことについて書くことができました。私にとってボランティア活動は、いろいろな世界を知るためのよい経験になりました。

無事AO入試に合格し、ルーテルに入学しました。将来は児童養護

施設で働きたいという思いがあり、子ども支援コースを選択しました。授業では自分の学びたいと思っていたことを学べているので楽しいと感じています。授業ではグループワークも多く、自分以外の人たちの意見等を通じて異なる意見があることを学んでいます。

ルーテルでは国家資格などの取得を目指すこともできます。諦めそうになることもあります。資格取得に向けたサポートもあり、相談することがあるので、諦めずに取り組むことができます。

皆さんもぜひ諦めずにチャレンジしてみてください。

AO入試
合格体験記

教会で見た牧師先生の
「コラム」に感銘を受けて

キリスト教人間学コース2年 長谷川 諒
(私立桜丘高等学校出身(三重県))

私はAO入試でこの大学を受験しました。受験するまでにさまざまなドラマがありました。高校3年生のときに他にも志望校があり、志望校について親に相談することもありました。

志望校などについて悩んでいたときに、教会に置いてあった新聞のコラムを偶然読み、その内容に感銘を受けました。その牧師先生について調べてみると、ルーテル教会の牧師先生だということがわかりました。

そのコラムを書いた牧師先生に会いたいと思い、牧師先生を訪ねることにしました。「僕もこの人みたいになりたい!」そう思った私は、この教会と同じ名前のルーテル学院大学へ進学したいと思うようになり、親に相談し、話し合いました。

最初は反対されましたが、最終的には納得してくれて、AO入試への対策を始めました。AO入試の内容は面接と課題の2つでした。具体的な対策として、在学していた高校の教員に、面接の練習や課題の添削指導をしていただきました。

AO入試を終えた数ヶ月後、気がつくところのキャンパスにいました。他大学に通う友人や知人の話を聞いて、周りの楽しそうな雰囲気と自分

の学生生活のギャップに後悔したこともありました。しかし、自分の夢をあらためて見つめ直した時、ここは勉強には最適な場所でした。

今年度の後期には、本学と姉妹校関係にあるカリフォルニア州のコンコーディア大学に隣接する語学学校への留学を控えているため、現在は主に聖書と英語を学んでいます。教会で読んだコラムで偶然ルーテル学院大学、そしてルーテル教会に出会いましたが、今ではここが自分に与えられた場所だと感じています。



AO入試スケジュール

〈AO入試説明 期間〉3月30日(土)～9月28日(土)

AO入試の説明は、オープンキャンパス、体験講座、外部進学相談会にて希望者を対象に行います。AO入試の説明、エントリー方法、課題などを説明しAO入試ガイドを配布しますので、AO入試説明は必ず受験生本人が受けてください。

	I 期	II 期
エントリー期間	4/29(月)～8/26(月)	4/29(月)～10/15(火)
課題提出期間	8/19(月)～9/2(月)	10/1(火)～10/21(月)
面談日	9/7(土)	10/26(土)
出願許可発送	9/12(木)	10/31(木)
出願期間	9/13(金)～9/25(水)	11/1(金)～11/15(金)
合格発表	10/3(木)14時	11/22(金)14時

〈AO入試に関する
お問い合わせ・ご相談〉
入試事務局
0422-31-4611
admission@luther.ac.jp

2018年度
社会福祉士 精神保健福祉士 合格率

第31回社会福祉士国家試験の現役合格率が発表され、

本学は **68.2%** (全国平均合格率29.9%) でした。

第21回精神保健福祉士国家試験の現役合格率は **100%** (全国平均合格率62.7%) と、受験者全員合格でした。本学は精神保健福祉士国家試験に第1回から合格者を出している数少ない大学です。

キリスト教月間 2019 報告

チャブレン 河田 優

ルーテル学院は、毎年4月をキリスト教月間とし、特に新入生たちに向けてキリスト教や聖書、礼拝を紹介してきました。本年度も4月9日から5月10日まで、キャンパスキリスト教センターを中心に企画された特別礼拝や様々な催しが行われました。

礼拝では、社会福祉、臨床心理、キリスト教領域の教員がメッセージを行い、ミッションスクールである本学で学ぶ意味を紹介しました。また学外のゲストから話を聞いたり、聖歌隊など音楽サークルによる礼拝も行われました。

恒例のクヌーテン講演会では卒業生である吉村誠司氏(ヒューマンシールド神戸代表)を招き、「ルーテルから世界の被災地へ」と題しての講演をいただき、出かけるこ



牧師 ROCKS コンサート

名を超える牧師や司祭などの参加があり、「キリスト教概論1」の授業ではそれぞれの教会の特徴を説明し、キリスト教が誰に対しても身近なものであることを紹介していただきました。

どのプログラムにも多くの学生が参加し、キリスト教を基盤とする本学の教育理念について学ぶ祝された時となりました。



ノルウェー研修報告

教授 原島 博

2019年3月10日～16日にわたり、学部学生7名、本学大学院卒業生1名、施設職員1名、引率教員1名の計10名でノルウェーの首都オスロ市内で研修を実施しました。交流協定校のV I D 大学(看護、福祉、キリスト教コースのあるルーテル系私立大学)にてノルウェーの社会福祉について講義を受け、保育園(ルーテル系)、公立ハイスクール(東部オスロ移民・難民定住地区)、Erlık Kage(路上生活者のサロ



ホームレス支援力フェ

を通して、ノルウェーの歴史や文化に触れることができました。参加者からは、市民が福祉サービスを利用することを権利として考えていること、男女差がなく社会参画の機会が保障されていること、NPOの役割も重要視されソーシャルワーカーの職域の広がりがあること、いじめの対応システムが興味深かったなど、といった感想を聞くことができました。



オスロ市内ハイスクール訪問

NPO)などの施設を視察しました。また、ビーゲラン彫刻公園、オスロ市役所、ムンク美術館、バイキング博物館などの見学を

このようなことを感じることができた背景には、社会問題を隠さずに取り上げて解決していくこうとする専門家や実践家の姿勢や、高齢者や障害者であつても一人ひとりが尊重されて生きること大切な規範としているノルウェー人の国民性から直感的に学んだからだといえます。